

「指宿港海岸緑地整備」に関するサウンディング型市場調査の結果概要

指宿港海岸緑地において、市場性の有無や事業手法、事業実現性など、民間事業者の皆様から広く意見や提案を求めるサウンディング型市場調査を実施しました。

本調査の結果をとりまとめましたので、その概要を公表します。

1 実施概要

(1) 調査対象

指宿港海岸緑地 約 3.6ha

(2) 実施状況

実施項目	実施スケジュール	参加事業者数
個別対話	令和8年1月9日（金）～6月30日（月）	3事業者 （市外2社、県外1社）

2 結果概要

個別対話を行った事業者から以下のような意見がありました。

- ・事業の成功は、単体施設では成立せず、地域との連携とエリア全体での魅力向上が不可欠である。
- ・上下水道、ごみ処理バックヤードなど維持管理しやすいインフラの設計を初期段階から組み込む。
- ・駐車場有料化と車中泊の導入にあたって、電源、トイレ、平坦地がある場所でスムーズスタートでの実証実験をすると良い。
- ・建設費の高騰により、民間単独での建物投資は事業環境として厳しく、公共整備と民間運営を組み合わせた連携モデルが現実的である。
- ・駅から緑地までの回遊性を高めるため、全域で一体的な開発を行うよりも、各ゾーンに立ち寄りスポットを点在させ、滞在時間を延ばす工夫が有効である。
- ・安定的な事業運営のためには、市がインフラや維持管理の一部を負担するなど、民間が収益事業に注力できるような協力体制の構築が重要である。

その他、整備の手法等に対して、さまざまなアイデアやご提言をいただきました。

3 今後の予定

今回いただいたご提案やご意見を参考に、引き続き、整備手法の検討を行います。